

認定ポイント取得について

日本臨床心理士資格認定協会における臨床心理士資格更新制度

本学会主催年次大会と研修会（ワークショップ）は、「③関連学会での諸活動への参加」として認められています。資格更新の際に、日本臨床心理士資格認定協会に参加を証明する書類（受講証明証書、ネームカード等）をご提出ください。研修会については 5 時間以上（3 時間×2 コマ、6 時間×1 コマ）の受講で 2 ポイントが認められます。

※3 時間×2 コマの組合せは、本学会主催のもの組合せであれば年度をまたいでも構いません。

※各自で証明することになりますので、受講証明書等はなくさずに保管して下さい。大会、及び学会事務局で受講証明書の再発行は致しかねます。

認定ポイント	
日本認知・行動療法学会第 44 回大会	2 ポイント
ワークショップ 合計 5 時間以上	2 ポイント

※詳細については、日本臨床心理士資格認定協会までお問い合わせください。

日本精神神経学会における精神科専門医制度

ポイント取得希望の方は、会員カードをご持参ください。

ポイント付与対象は下記となりますので、受付へお越しください。会期中 1 回のカード登録で、所定のポイントを付与します。

【教育講演】

10月27日（土）10：00～11：30

鈴木伸一 認知行動療法のトレーニング・ガイドラインの作成に向けて：英国の「本気の CBT 育成」に学ぼう！

10月27日（土）13：45～15：15

井上 猛 心理師のための精神科薬物療法の基礎知識：不安と不眠の治療を中心に

【ワークショップ：3 時間】

10月26日（金）10：00～13：00

WS04 熊野宏昭 マインドフルネス的な認知・行動療法

WS05 原井宏明 初めての人のための動機づけ面接

WS07 伊藤正哉 不安とうつの統一プロトコル

10月26日（金）14：00～17：00

- WS08 岡嶋美代 簡単なエクスポージャーからフラッシュバックの妨害まで：教科書に載ってない臨床のコツ
- WS09 大島郁葉 スキーマ療法の理論と実践
- WS10 稲垣貴彦 教育現場における認知行動療法実践のための医学的診断
- WS11 石垣琢磨 統合失調症の認知行動療法：精神科リハビリテーションにおける役割
- WS12 鈴木太・木村拓磨 青年期摂食障害のアセスメントと介入
- WS13 首藤祐介 行動活性化療法の基礎と実際

10月26日（金）17：30～20：30

- WS14 神村栄一 児童・思春期の不安と衝動制御の困難に活かす認知行動療法
- WS15 清水栄司 注意、イメージ、記憶と不安症の認知行動療法
- WS16 田中恒彦 認知に挑戦する：認知的介入の理論と実践

10月27日（土）14：00～17：00

- WS21 中尾智博・村山桂太郎 治療マニュアルを用いた強迫症の認知行動療法
- WS22 原田隆之 アディクションへの認知行動療法

10月28日（日）14：00～17：00

- WS24 芝田寿美男 精神科日常臨床での行動分析～うつ病の3症例から
- WS25 鈴木伸一 認知行動療法の実践に必要な基本コンピテンスを学ぶ
- WS26 松本俊彦 自傷行為の理解と援助